



## 温室効果ガス排出量実質ゼロに向けた長期目標を設定 ～関西エアポートグループは脱炭素社会の実現に貢献します～

関西エアポートグループは、地球温暖化防止対策として、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロとする長期目標を設定したことをお知らせします。

国際社会や日本において、2050年までに温室効果ガスの排出を実質ゼロとし、脱炭素社会を実現する目標が掲げられています。関西エアポートグループでは、これまでも関西3空港（関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港）において環境への負荷を低減するための様々な活動に取り組んできましたが、更なるエネルギー消費の削減と再生可能エネルギーの利用等により、CO<sub>2</sub>の排出実質ゼロの状態（カーボンニュートラル）に向けた中長期的な対策を計画、推進いたします。

関西エアポートグループは、今後も環境負荷低減に向けた取り組みを推進し、周辺環境と共生した空港の発展を目指してまいります。

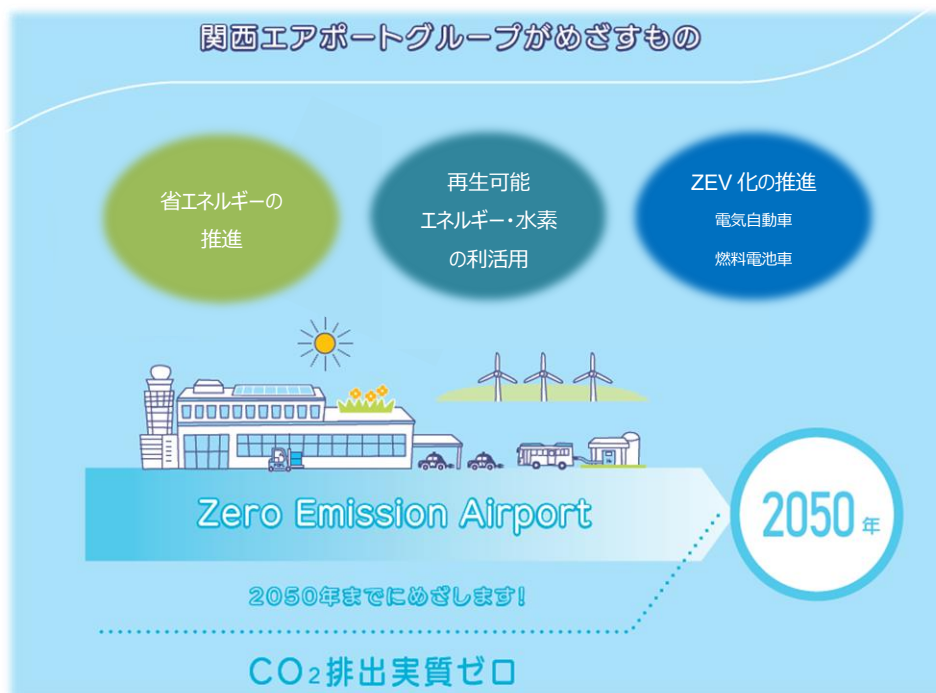
### ■ 2050年に向けての長期目標

	2016年度 (基準年)	2030年度	2050年度
関西エアポートグループのCO <sub>2</sub> 排出量 (スコープ1およびスコープ2) <sup>※1</sup>	11.3万 t-CO <sub>2</sub> <sup>※2</sup>	40% 削減	実質ゼロ <sup>※3</sup>

※1 スコープ1：燃料等の燃焼に伴う直接的な排出、スコープ2：電気の購入に伴う間接的な排出

※2 空港カーボン認証制度に基づく算出値を年度集計した値。神戸空港については関西エアポート神戸による運用前の試算値を含む

※3 グリーンエネルギーの購入などを含む



#### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社  
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション  
Tel : 072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports (ヴァンシ・エアポート) を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港 (KIX) および大阪国際空港 (ITAMI) の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016 年 4 月 1 日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018 年 4 月 1 日からは関西エアポート株式会社の 100% 出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港 (KOBE) の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西 3 空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/) をご参照ください。

関西エアポート株式会社 (関西国際空港および大阪国際空港の運営)

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地 大阪市西区西本町一丁目 4 番 1 号 (登記上)	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社 (神戸空港の運営)

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港 1 番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964 年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971 年の香港進出を皮切りに世界 37 カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、欧州、アジア、南北アメリカ大陸の 12 カ国において 45 空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で 2050 年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016 年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社 JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

# 温室効果ガス排出量実質ゼロ に向けた長期目標

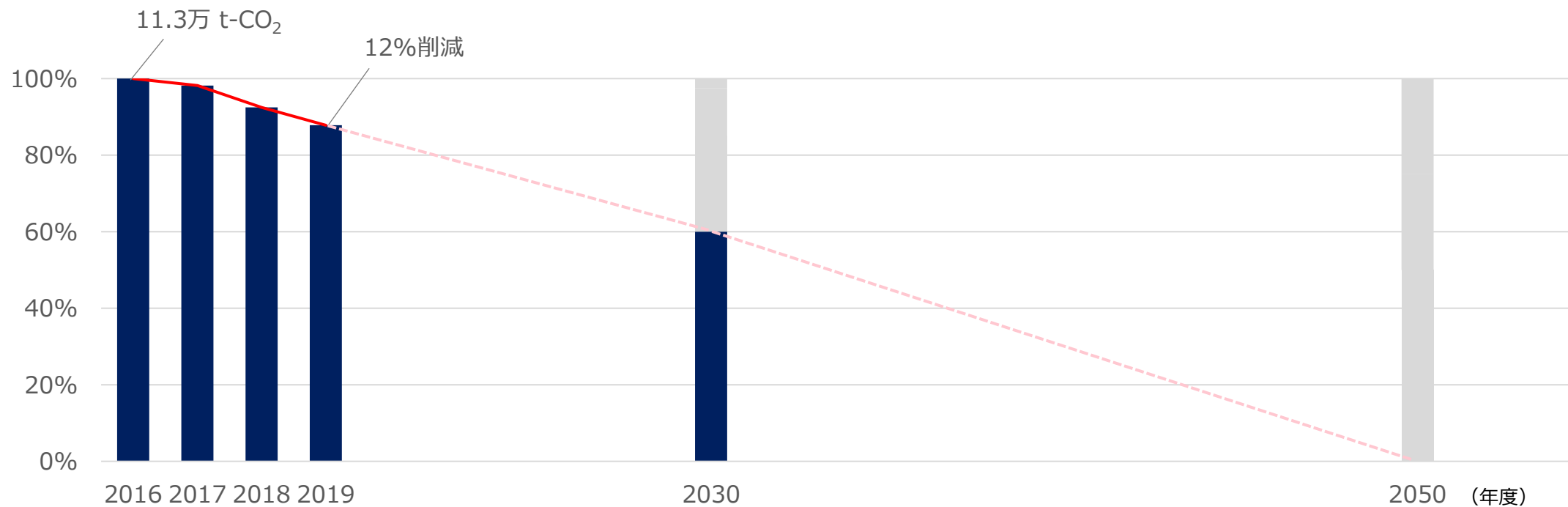
2021.03.05

Shaping a New Journey



# 長期目標

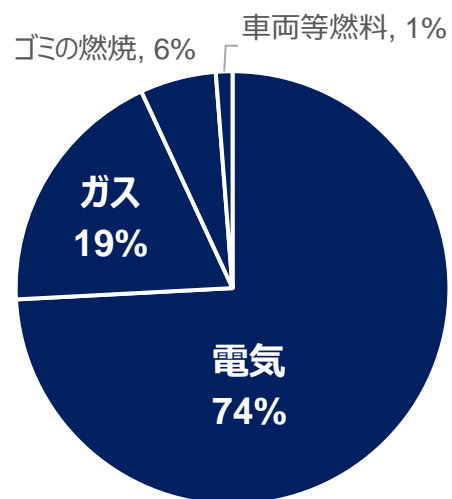
	2016年度 (基準年)	2030年度	2050年度
関西エアポートグループのCO <sub>2</sub> 排出量 (スコープ1およびスコープ2) <sup>*1</sup>	11.3万 t-CO <sub>2</sub> <sup>*2</sup>	40% 削減	実質ゼロ <sup>*3</sup>



CO<sub>2</sub>排出量削減のイメージ

# 主要な取り組み

関西エアポートグループの  
CO<sub>2</sub>排出源の内訳 \*1  
(スコープ1,2)



## 省エネルギーの推進

- ✓ 高効率熱源機器への更新
- ✓ 外気取入れの最適化
- ✓ 断熱と日射対策
- ✓ 空調制御の最適化

空調

- ✓ 照明の100%LED化
- ✓ センサーや明るさ制御の拡大

照明

- ✓ BEMS\*2によるエネルギーの見える化と分析
- ✓ AIによるオペレーションの最適化

オペレーション

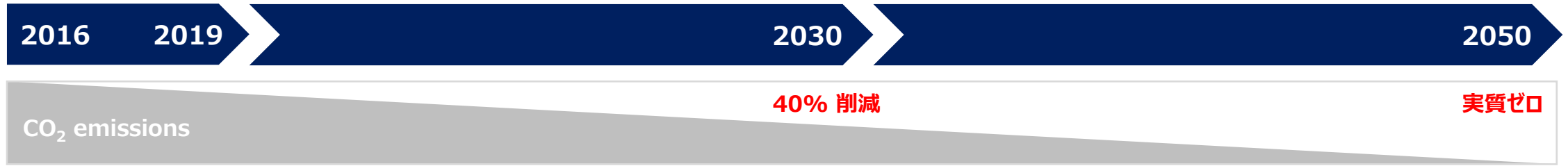
## 再生可能エネルギー・ 水素の利活用

- ✓ 太陽光発電の導入・拡大
- ✓ 水素グリッドプロジェクトの推進

## ZEV\*3の導入推進

- ✓ 業務車両の電気自動車、燃料電池車への置き換え

# CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロの達成に向けたロードマップ



## 現在の削減

### 購入電気の排出係数

### 計画済みの対策

省エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調熱源機器の高効率化</li> <li>・照明のLED化</li> <li>・オペレーションの最適化 (BEMS導入と分析)</li> <li>・その他省エネ対策</li> </ul>
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T2 の太陽光発電導入</li> </ul>

### 追加する対策

省エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T1リノベーションにおける省エネ対策</li> <li>・空調制御の最適化</li> <li>・照明の100%LED化, センサーや明るさ制御の導入</li> <li>・AIによるオペレーションの最適化</li> </ul>
再生可能エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・太陽光発電の導入・拡大</li> </ul>
ZEV	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゼロエミッション車両の導入</li> </ul>

- ✓ グリーンエネルギーの購入
- ✓ 更なる省エネ

### ✓ 技術革新

- ✓ 水素の利活用
- ✓ メタネーションによる都市ガスの利用
- ✓ ごみの焼却 (排気ガスのCO<sub>2</sub>回収とメタネーション)
- ✓ 100% ゼロエミッション車両

# これまでの取り組み事例

## 省エネルギー



空調機器の高効率化



ターミナルビル等へのLED導入



断熱・日射対策



省エネオペレーションの推進

## 再生可能エネルギー・水素



ターミナルビル屋上への  
ソーラーパネルの設置



水素プロジェクトの推進

## ZEV



EV、FCVの導入



燃料電池フォークリフトの導入

# 参考

---

- 関西エアポート環境宣言

<http://www.kansai-airports.co.jp/efforts/environment/efforts/message.html>

- 2018-2022年度までの環境5ヵ年計画 「One エコエアポート計画」

<http://www.kansai-airports.co.jp/efforts/environment/efforts/oneecoairport.html>

- 環境レポート2020

<http://www.kansai-airports.co.jp/efforts/environment/efforts/reports.html>